

参 考 資 料

○びばい未来交響プラン後期基本計画の策定経過	76
○美唄市総合計画審議会委員名簿	77
○美唄市総合計画審議会からの答申	78
○美唄未来会議・部会編成	81
○美唄未来会議からの提言	82
○まちづくり小学生、中学生、高校生アンケート集計表	103
○パブリック・コメント手続結果	106

びばい未来交響プラン後期基本計画の策定経過

●美唄市

年月日	内 容
H26. 6. 22	まちづくり小学生・中学生アンケート実施
7. 23	まちづくり高校生アンケート実施
10. 15	第1回策定委員会：設置目的、スケジュール等の確認 第1回検討委員会：設置目的、スケジュール等の確認
10. 27	第2回策定委員会：施策評価表の説明
11. 4	第3回策定委員会：施策評価表の説明
11. 5	第4回策定委員会：施策評価表の説明
H27. 4. 27	第5回策定委員会：設置要綱改正の協議 ほか
7. 13	自治組織代表者会議（69人参加）
7. 16～	まちづくり地区懇談会（12会場、121人参加）
8. 8	
8. 6	第6回策定委員会：後期基本計画（素案）協議
8. 31	第7回策定委員会：後期基本計画（案）決定
9. 28～	パブリックコメント手続（0件）
10. 27	
11. 6	第8回策定委員会：パブリック・コメント手続結果報告

●市議会

年月日	内 容
H27. 9. 18	議員協議会：後期基本計画（案）説明
12. 11	議員協議会：後期基本計画（案）パブリック・コメント手続結果説明

●美唄未来会議（委員58名→最終56名）

年月日	内 容	
H26. 10. 27	第1回全体会議 スケジュール確認等	全体会議 4回 部会 各8回
11. 26	第2回全体会議 部会の編成、施策評価の説明	正副部会長会議 1回
11. 26～	部会での協議（各部会4回）	
H27. 2. 18		
3. 23	第3回全体会議：まちづくり評価	
4. 28～	部会での協議	
7. 22	分野ごとの協議（各部会4回）	
6. 26	部会長・副部会長会議：提言書のまとめ	
7. 30	第4回全体会議：提言書確定	
8. 5	提言書提出	

●総合計画審議会（委員25名）

年月日	内 容	
H26. 7. 16	H26第1回審議会 スケジュール確認等	全体会議 6回 部会 各7回
10. 31	H26第2回審議会 施策評価の説明等	第1部会 8名 第2部会 9名 第3部会 8名
10. 31～	部会会議（各部会4回）	
H27. 2. 20	政策評価の説明	正副部会長会議 2回
H26. 12. 25	部会長・副部会長会議：部会の進捗状況確認	
H27. 3. 24	H26第3回審議会 まちづくり評価の報告等	
6. 25	H27第1回審議会 戦略専門部会の説明等	
8. 10	H27第2回審議会 後期基本計画（素案）諮問	
8. 10～	部会会議：分野ごとの審議（各部会3回）	
8. 24		
8. 26	部会長・副部会長会議：答申内容確認	
8. 27	H27第3回審議会 答申内容確認	
8. 28	答申（後期基本計画）	

美唄市総合計画審議会委員名簿

任期：平成26年2月1日～平成28年1月31日

NO	氏名	選出区分	団体等の名称及び役職名	備考
1	鈴木 重孝	労働団体	連合北海道美唄地区連合会 副事務局長	副会長 第3部会部会長
2	村上 利雄	農業団体	美唄市農業協同組合 代表理事組合長	第1部会
3	伊藤 俊春	農業団体	峰延農業協同組合 専務理事	第1部会 副部会長
4	羽田 勝美	農業団体	美唄市農民協議会 委員長	第1部会
5	大野 賢治	農業団体	峰延農民協議会 委員長	第1部会
6	岸本 邦宏	商業団体	美唄商工会議所 会頭	会長 第3部会
7	斉藤 道範	商業団体	美唄商工会議所青年部 会長	第3部会
8	東 敏行	青年団体	美唄青年会議所 直前理事長	第3部会 副部会長
9	佐藤 君子	女性団体	美唄市婦人団体連絡協議会 会長	第2部会
10	浅沼美智子	女性団体	びばい女性フォーラム 副会長	副会長 第2部会副部会長
11	越後 和雄	工鉱業者	美唄振興企業クラブ 副会長	第1部会
12	広瀬 勝彥	工鉱業者	美唄建設業協会 会長	第1部会
13	渡辺 修	学識経験者	美唄観光物産協会 副会長	第1部会
14	門脇 忠夫	学識経験者	協同組合日専連美唄 専務理事	第1部会 部会長
15	高橋 将	学識経験者	社会福祉法人美唄市社会福祉協議会 会長	第3部会
16	安藤 淳	学識経験者	社団法人美唄身体障害者福祉協会 会長	第2部会
17	佐々木孝嘉	学識経験者	特定非営利活動法人美唄市体育協会 理事長	第2部会
18	白戸 仁康	学識経験者	美唄市郷土史研究会 理事	第2部会 部会長
19	井門 明	学識経験者	美唄市医師会 会長	第2部会
20	嶋倉 訓	学識経験者	特定非営利活動法人美唄市文化協会 顧問	第2部会
21	土屋 勝重	学識経験者	美唄市老人クラブ連合会 会長	第3部会
22	坂本 忠幸	学識経験者	美唄消費者協会 会長	第3部会
23	濱田 修弘	学識経験者	地方独立行政法人北海道立総合研究機構 森林研究本部長兼林業試験場長	第3部会
24	池田あけみ	学識経験者	美唄市PTA連合会 副会長	第2部会
25	大道 慎	学識経験者	中央保育所父母の会 副会長	第2部会

美唄市総合計画審議会からの答申

<p style="text-align: right;">平成27年8月28日</p> <p>美唄市長 高橋 幹夫 様</p> <p style="text-align: center;">美唄市総合計画審議会 会長 岸本 邦宏</p> <p>びばい未来交響プラン（第6期美唄市総合計画） 後期基本計画（素案）について（答申）</p> <p>平成27年8月10日付け諮問第1号により本審議会に諮問のありましたびばい未来交響プラン（第6期美唄市総合計画）後期基本計画（素案）について、慎重に審議した結果、おおむね妥当と認め、別紙の意見を付けて答申します。</p> <p>本審議会における意見を十分尊重し、後期基本計画に反映されるとともに、計画の着実な推進に努められるよう要望します。</p>	<p style="text-align: center;">美唄市総合計画審議会意見</p> <p>I びばい未来交響プラン後期基本計画（素案）に関する意見 75件</p> <p>第1楽章 人と情報が行き交いにぎわいが生まれるまちづくり 28件</p> <p>[1] 産業づくり 11件</p> <p>(1) 農工商連携 5件</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地元の小ロット（生産量）をもう少し拡大し、道の駅など販路拡大できる拠点施設が必要になるのではないか。 ●加工の基本となる農産物は、ハスカップ、アスパラだが、生産が追いついていない。作付を伸ばすには農業者だけの努力では困難だ。観光農園化や企業との連携も必要ではないか。 ●美唄には、焼き鳥やとりめしがあるので、地鶏を育てることはできないか。 ●廃校校舎などを使って、商品加工の研究施設を整備できないか。商品化したものは“美唄ブランド”として販売する。 ●米や麦など、現在あるものを加工して、新しい特産品を開発できないか。 <p>(2) 農業振興 3件</p> <ul style="list-style-type: none"> ●規模拡大を目指すことは、蔬菜（＝野菜）の振興にも関わるので、地域形成と規模拡大の両パターンを考え、新規就農者も育てていくことが必要ではないか。 ●新規就農につながる農業体験、農業研修の仕組みづくりを強化したプログラムをつくりながら、農場や研修施設を整備すべきだ。 ●これからの農業は2極化すると思う。規模拡大を考える農家は40町から50町ないとやっていけない。その一方で、蔬菜などの園芸を目指す新規就農者（小さな面積から）がいるので、こうした取り組みも進めるべきだ。 <p>(3) 商工業振興 3件</p> <ul style="list-style-type: none"> ●美唄商品券の取り組みは、地元の商店街で使える環境づくりを今後も続けるべきだ。 ●商店街が歯抜けになってきているので、地元を商店を集積した施設を整備すべきではないか。 ●美唄の建設業などの企業が学校に就職依頼しても、なかなか来てくれないのが現状で人材確保ができないため、地元企業に就職してくれるような取り組みが必要ではないか。 <p>[2] にぎわいづくり 17件</p> <p>(4) 観光・交流 13件</p> <ul style="list-style-type: none"> ●宿泊した後、どこに行くのか。市内に観光客が滞在できる、お金を落としてくれるような拠点づくりが必要だ。 ●現状の「2 交流拡大のしくみづくり」について、産業遺産などを「見る」となっているが、「学ぶ」ということも加えられないのか。 ●市内に「道の駅」を整備してはどうかという話もあるが、高速道路の美唄インターで降りると、市街を通らない可能性がある。札幌圏から人が来ても美唄を素通りして行ってしまうことになりかねない。どこに焦点を当てて開発すべきか、観光ルートを考えていかなければならない。東明駅は美唄の歴史そのものだ。立坑もそうだが、今ある美唄の歴史をモチーフにしたものを整備すべきだと思う。 ●観光のキーワードは、「遊ぶ」「見る」「食べる」「体験する」「買う」だ。買うものがないと、観光施設等を見たら、すぐに他へ行ってしまふ。これでは意味がない。何か買わせる手法を作り上げることが必要だ。
<p>○答申にあたり</p> <p>びばい未来交響プラン後期基本計画の検討にあたり、本市の10年を展望した基本構想をもとに、今後5年間の本市の将来の方向を検討してきました。</p> <p>そうした中、国からは、人口減少と地域経済の克服、まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立のため、長期のビジョンが示されたほか、様々な検討が進められ、国内を取り巻く社会情勢は大きく変化しています。</p> <p>本市においても、将来の人口減少が危惧される中で、市民の誰もが安心して生活していけるよう、持続可能な自治体経営を基本にしながら、本審議会において、英知を結集し、本答申を取りまとめたところです。</p> <p>審議会での検討では、総合計画の都市像に基づき、すべての施策について熱心な議論が行われましたが、とりわけ、旧美唄工業高校の跡地の利活用を含む、コンパクトシティのあり方など、本市の将来を方向づける検討をはじめ、市の特産品である食と観光を振興していくためにも、将来の交流人口を飛躍的に拡大させる機会となる道道美唄富良野線を活用することや子育て支援対策などを通じて、将来を担う子ども達を家庭だけではなく、社会全体で育んでいく取り組みなどの審議を行ってきたところです。</p> <p>その他、様々な取り組みの検討を行い、全てを記すことはできませんが、個々の取り組みに終始するのではなく、市の施策が密接なつながりの中で、共に大きく共振することで、様々な効果を引きだすことができるものと思っており、こうした取り組みを市民が丸となって、丁寧に進めることが、将来のまちづくりに大きな花を咲かせることを確信するものであります。</p> <p>本市を取り巻く財政状況は、大変厳しいものがあり、今後もその状況は大きくは変わらないと予想されますが、不断の努力と継続した力を持って、総合計画に託された施策を実現し、ふるさと美唄の再生と発展につながることを願うものであります。</p> <p>平成27年8月28日</p> <p style="text-align: right;">美唄市総合計画審議会 会長 岸本 邦宏</p>	

- 道の駅の敷地に何があるのか、ゾーンの作り方が大切になる。単なる道の駅では人は集まらない。おんね湯の道の駅などのように、施設をどれだけ充実させられるかがポイントだ。
 - 富良野は宿泊する観光地ではなく滞在する観光地だ。その観光客を美唄に泊まらせるとなると、富良野よりも美唄が上をいっていないと泊まってくれない。
 - 美唄は、札幌圏に非常に近いので、宿泊してもらおうということは困難ではないか。
 - 美唄でも空き家や廃校校舎が増えてきた。海外のエアB&Bという法人では、世界中の空き家を集約して、旅行者を斡旋している。そういうのも一つの方法ではないか。美唄で建物を新たに建てることは大変だが、空き家をうまく活用することは可能だ。
 - 青少年などが来れば美唄に関わりを持つ人が増えるので、廃校校舎をうまく活用して、様々な意味で美唄への間口を広げていくことが大事だ。
 - 美唄の企業でも、半分以上が岩見沢から通勤しているところがある。その理由は、岩見沢の方が条件が良いことだ。美唄に住めばこれだけ有利だというものがないければ、移住には結びつかない。
 - マイナス面があるから美唄が駄目なのであって、プラス面を考えるよりもマイナス面をなくす方が先なのではないか。病院の問題では、老後安心して生活できない。教育面では、岩見沢に行った方が様々な意味で利便性がある。何かに集中して投資しないと駄目だ。全部を良くしようとしても無理な話だ。
 - あれもこれでもではなく、あれかこれかに絞ってやっていくことが必要だ。美唄独自の何か特化したものがないと、移住人口は増やせない。
 - 市で遊んでいる土地をあげるから、そこに住宅を建てて住んでくださいというような、思い切ったことはできないのか。
 - (5) 公共交通 2件
 - 通勤客や学生がいると思うので、JRに対してダイヤの確保を図ってほしい。また、市民、特に高齢者のことを考えると、買い物バス、乗合タクシーをいかに効率よく動かして負担を減らせないか。
 - 美唄から札幌に通う人もたくさんいるので、美唄－札幌間の快速電車を運行してほしい。現状は直通の快速電車がなくて、補助金をもらって美唄に住宅を建てても、長い期間を考えると岩見沢に住んだ方が良くということになってしまう。
 - (6) 情報化推進 2件
 - 電子申請等は、インターネットを使いこなせる人は便利だが、使えない人もいるので、できるだけ分かりやすいものにしていく必要がある。
 - ICT関係でGPSを気象情報サービスや冬場の除雪されていない道路の把握などに活用している自治体もあり、美唄市としてもGPSを様々な媒体で活用してはどうか。
- 第2楽章 人と文化を育み交流が広がるまちづくり19件
- [3] 人づくり 19件
- (7) 子育て支援 3件
- 学校、幼稚園に行っている子どもに熱が出た時に、両親が仕事を早退しなくても済むような体制の整備など、踏み込んだ検討をしていただきたい。
 - 北海道コンピュータカレッジの跡の新保育所に子育て支援センターを入れて、役割分担ができないか。
 - 医療費の無料は、市町村によっては義務教育期間中すべて無料化というところもあるので、当市でも医療費無料化を就学後についても一年間ずつでもいいので、拡大してはどうか。
- (8) 学校教育 2件
- 学校教育は知・徳・体で学力の知、体力向上の体とあり、徳の部分、いわゆる心の教育の部分をもう少し全面に押し出していくといじめや不登校が少なくなるのではないか。

- 美唄市における道徳の教育を含めて、最近、特に言われている心の問題に取り組んでいただきたい。
- (9) 芸術・文化・生涯学習 9件
- 芸術文化の鑑賞について、美唄ゆかりの画家の常設展示施設を検討してほしい。
- アルテピアッツァ美唄だけが文化ではない。他の文化にも目を向けてもっと盛り上げていただけるような施策を検討してほしい。
- 生涯学習活動の充実のなかに“図書館とともに”とあるがぜひここに“図書館の運営体制の改善”という言葉を入れていただきたい。
- 郷土史料館については“将来的な”とあるが、これは取り除いて“通年開館に向け”と掲げていかないと、実現には至らないのではないか。
- 郷土史料館について、ボランティアとの連携とあるが、これは関連団体との連携とすべきであり、ボランティアについては協力とするべき。また、ボランティアの研修システムについても構築するべきであり、運営体制や人員体制を早急に整備する必要がある。
- 桜井邸の夏季間の公開と利活用の工夫をするということを入れていただきたい。
- アルテピアッツァ美唄については市が担う部分と、NP0法人が担う部分が一緒になっている。
- 目指す姿の“市民が”ということとの整合性を図っていただきたい。
- アルテピアッツァ美唄について、窓に取り付けられていた鍵が建物全体の雰囲気を損なうようなものであったため、そういった細部にもこだわった雰囲気作りをしてほしい。
- (10) 男女共同参画 5件
- 指標として、女性の就業率も重要な指標として、なり得るのでは無いか。
- 男性の育児休業制度の普及・啓発のため、市役所が男子職員に対し、育児休業制度の利用について、積極的に取りなさいと、模範を示すような取り組みを行ってはどうか。
- 子育ての女性が様々な事業に子供連れで参加できる様な取り組みを行ってはどうか。
- 男性の育児休業について、具体例をあげて啓発してはどうか。
- 審議会等の委員選出について、主婦という肩書での選出も検討してどうか。

第3楽章 豊かな景観あふれるエコロジーなまちづくり11件

- [4] 環境づくり 8件
- (12) 自然保護 3件
- 自然保護は、観光と大きく関わってくると考えるが、例えば、美唄山についてはどう考えるか。
 - 美唄ダムに流れ込んでいる沢の周辺等では、結構化石が出る。また、東明公園にある沼も普段は使っていないが、活用の方法次第では美唄の自然が立派な観光資源になると考えている。
 - 美唄には、林業試験場もあり専門家も多いので、自然の活用についていろいろと相談してみるとよいのではないか。
 - (13) 環境行動 2件
 - 岩見沢方面に向かう道道は、水芭蕉も咲いて美しいところだが、ごみの不法投棄が多い。啓発活動が必要ではないか。
 - モラル教育を市が積極的にやっていただきたい。
 - (14) ごみ処理 3件
 - リサイクル率の目標値は、生ごみの堆肥化(+3パーセント)を入れて28パーセントとした方が、現実的であるし、高い目標となるので市としてもいいのではないか。
 - 人口減で集まる生ごみが減り、堆肥化施設が稼働できなくなると心配のため、他の自治体から持ってくることも想定してはどうか。

<p>●岩見沢に燃やせるごみの処理を依頼して、生ごみを引き取るようなことを考えてはどうか。</p> <p>[5] うるおいづくり 3件 (15) 都市基盤整備 1件</p> <p>●美唄のこれからを考えると、人口が減って2万人を切っていくことも想定して計画を作っていかなければならない。三笠市など周辺の市町もそうだが、炭鉱があったところでは、山の中に住宅が分散し、老人しか残っていない現状がある。農村部についても戸数が減っていくことが予想される。どのようにまちづくりをしていくのか長期的な視点を持ってやっていかなければならない。この都市基盤整備は、現状と将来計画の接点といえる重要なテーマだと考えている。コンパクトなまちづくりでは、行政としては効率化を考えて進めるべきだと思うが、住民感情もあるので強制的にできるものではない。市民に説明をしながら慎重に進めるべきだと考える。</p> <p>(16) 景観・緑づくり 2件</p> <p>●市民ボランティアが植樹をした場合でも植樹をして終わりではなく、手がかからないところまで一緒に育てる取組をすると木を育てる大変さも理解していただけるのではないかと。</p> <p>●景観については、東明公園やアルテピアッツァ美唄など、観光客に売り出せるものが数多くある。そういったものをどうやって活用し、管理していくのかを考える必要がある。また、各部署がばらばらに動きがちだと思うので、注意喚起の意味も含めて各部署の連携についてこの計画に記載するという方法もあるかと思う。</p> <p>第4楽章 誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり 4件</p> <p>[6] 健康づくり 2件 (17) 保健 1件</p> <p>●関連指標に喫煙率を加えてはどうか。</p> <p>(18) 地域医療 1件</p> <p>●病院の建て替え、医療従事者の確保等とともに、患者への対応の仕方に関する受入体制などの運営体制の整備について検討するといった内容を計画に入れていただきたい。</p> <p>[7] 福祉のまちづくり 2件 (20) 高齢者福祉 2件</p> <p>●生きがいづくりという部分について、生涯学習や生涯スポーツなどの多様な社会活動への参加促進には公的施設のバリアフリー化や環境整備が最低限必要であることから、福祉担当部署が窓口となって計画し、それぞれ担当部署に対して強く点検、整備などの呼びかけをしていただきたい。</p> <p>●市内で老老介護をされている方が、特に冬場の除雪に不安を感じて、岩見沢の病院の近くに引越するという方がいたが、そうした様々な生活面などの相談がしやすい環境を整えるべきではないか。</p> <p>第5楽章 安全で安心して住めるまちづくり 10件</p> <p>[8] 安全づくり 2件 (21) 防災・防犯・交通安全 1件</p> <p>●防犯・交通関係の関連指標で、刑法犯認知件数の目標値が「現状値より減らす」となっていることに対し、年間交通事故発生件数は0件となっており目標設定が極端ではないか。</p> <p>(22) 消防 1件</p> <p>●消防は、資質・技術の向上が大きいと思う。常に技術力や現場での判断力も求められるので、隊員が事故に遭わないように研修などもしっかりやっていただきたい。それに待遇面での改善もなされると隊員の励みになると思う。</p> <p>[9] 安心づくり 8件 (23) 消費者保護 2件</p>	<p>●高齢者が増え、送りつけ商法など詐欺の手法も多様化している中、被害を食い止めるために周囲の人間が見守りをするのが重要。</p> <p>●企業宛に架空の請求書が送りつけられる事例もある。企業に対しても啓発をしていただきたい。</p> <p>(24) 雇用対策 3件</p> <p>●企業がどれだけ求人を登録しているかといったことも指標になるのではないかと。</p> <p>●障がい者を雇用した場合に市でも独自に助成を行うなど、制度面での手当を考えていくことが重要だと考える。</p> <p>●美唄市シルバー人材センターに対する支援については、支援を受けていない民間企業と業務が競合し、民業圧迫になり得る。</p> <p>(25) コミュニティ 3件</p> <p>●「現状」の欄にある「実際に地域活動を行った」市民の比率が30.0%に対し、69ページまちづくり市民アンケート調査の「地域活動に参加している市民の割合」の現状値は65.2%となっている。違うアンケートで問う方も違うのでこういう結果になったとは思いますが、初見の方には分かりにくいので工夫をした方がよい。</p> <p>●福祉のまちづくり事業補助金について、制度があっても市民が知らなければ意味がないので、もっとPR活動に力を入れて欲しい。</p> <p>●今年実施したチャレンジデーは新しいコミュニティが生まれるという意味でも良い取組であった。毎年というわけではなくてもいいので続けてほしい。</p> <p>最終楽章 みんなで力を合わせるまちづくり 3件</p> <p>[10] 地域経営の確立 3件 (26) 協働のまちづくり 1件</p> <p>●町内会の役員の手がなくなったり、町内会のない地域が出てきているなかで、そのような町内会や地域に対するケアが今後、必要になる。</p> <p>(27) 行財政運営 2件</p> <p>●単年度予算で3億円足りなくなるのは大変なことであり、分母を減らさない取り組みとして、人口増加対策が喫緊の大事な課題になる。</p> <p>●高齢者への対応として、行政や民生委員などの目配り気配りが、今後、益々必要となるが、人口を減らさないということは、その分、必要なコストもかかるので、行財政運営という課題も出てくる。</p> <p>びばい未来交響プラン後期基本計画（素案）に関する意見の件数一覧</p> <p>第1楽章 人と情報が行き交いにぎわいが生まれるまちづくり 28件 第2楽章 人と文化を育み交流が広がるまちづくり 19件 第3楽章 豊かな景観あふれるエコロジーなまちづくり 11件 第4楽章 誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり 4件 第5楽章 安全で安心して住めるまちづくり 10件 最終楽章 みんなで力を合わせるまちづくり 3件 全 体 75件</p>
--	---

美唄未来会議・部会編成

全体会議

56人：市民31人 市職員25人

委員長：谷村 明紀
副委員長：土肥 康子

正副部会長会議

第1部会

1 人と情報が行き交いにぎわいが生まれるまちづくり（産業・観光・公共交通・情報など）

6 みんなで力を合わせるまちづくり（協働のまちづくり、行財政運営など）

石川 弘樹
奥山 敦史
小野 栞（市）
小野 登
工藤 賢（市）
工藤 宏章
小林 篤（市）
齋藤 隆徳（市）
篠原 真希
杉田 佳寿也（市）
巽 健（市）
◎ 土肥 康子
○ 永井 仁
長谷川 彰徳
東岡 博之（市）
広瀬 公一
福田 征機
星野 悟
丸山 徹（市）
山田 道康

20人

事務局
佐藤主査、深尾主査

第2部会

2 人と文化を育み交流が広がるまちづくり（子育て支援・教育・芸術文化・男女共同参画など）

4 誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり（保健・医療・福祉など）

石垣 晶子（市）
加藤 セツ子
工藤 由季夫（市）
小林 康二（市）
柴田 生雄（市）
城下 紀幸
鈴木 沙綾（市）
高橋 正子
谷川 謡子（市）
◎ 谷村 明紀
椿原 亨
成田 和幸（市）
板東 知文
乗田 胡桃（市）
三宅 智英美
森 弘隆
○ 山本 牧伯
吉田 譲
林郷 誠司

19人

事務局
杉本主幹、酒谷主事

第3部会

3 豊かな景観あふれるエコロジーなまちづくり（自然保護・ごみ処理・都市基盤・景観など）

5 安全で安心して住めるまちづくり（防災・防犯・消費者保護・雇用対策・コミュニティなど）

大山 敏之（市）
久保田 和男
児玉ゆかり（市）
後藤 基公（市）
○ 清水 玲
高瀬 謙二郎
高橋 雄大（市）
高柳 和亨（市）
田中 悟
谷内 八重子
藤原 誠二（市）
◎ 堀田 智子
宗片 理之（市）
門田 修司（市）
山口 重蔵
山田 貴士
蓬田 昌広（市）

17人

事務局
平野主査、阿部主査

◎：部会長 ○：副部会長

（市）：市職員委員

美唄未来会議からの提言

○提言にあたり

美唄未来会議は、平成26年8月に設置され、市民委員31名、市職員委員25名、計56名が委嘱されました。

わたしたち委員は、これまで、会議の中でまちの現状や課題を確認しながら、「将来のわたしたちのまちが、より良いまちになるように」との思いをもちながら、議論を重ねてまいりました。

会議では、5年前の前期基本計画策定時に参加された委員やこのような会議に初めて参加された委員もいる中、施策の多さに戸惑い試行錯誤を繰り返しながらも、「市民の代表として、今後のまちづくりにより良い提言をしたい」との思いから、各委員が実体験や知識、それぞれの立場から意見を出し合い、回数を重ねるごとに充実した意見交換となりました。

提言内容に関しては、第6期総合計画の途中であることを踏まえて、それぞれの施策の理念をできるだけ尊重し、協働のまちづくりの実現に向けた施策の方向性などを中心として、提言を行っています。

最後に、市長をはじめ市や審議会などの今後の検討に際し、わたしたちの提言をしっかりと受け止めていただき、びばい未来交響プラン後期基本計画に生かされ、「人を元気に まちも元気に 光輝く美唄」となることを、委員一同、心よりご期待する次第です。

平成27年8月5日

美唄未来会議
委員長 谷村 明紀

○提言内容の整理のしかた

提言の取りまとめに当たっては、次のように整理しました。

①全体の構成は、美唄未来会議としてびばい未来交響プラン基本構想の都市像を実現するための6つの柱ごとに取りまとめた提言内容を掲載しています。

②「実施主体（誰が）」については、「市」「市民」など、まちづくりに果たすそれぞれの役割を踏まえて、最も適当な実施主体を表示しています。

③「取り組み方」については、それぞれの提言項目を実施する際の時間的な区分について、次のように分けて表示しています。

短期：2～3年程度で集中的に取り組むもの

中期：現状を踏まえて5年程度で段階的に取り組むもの

長期：時代状況を見ながら10年程度で段階的に取り組むもの

④「重要度」については、重要と思われる提言項目について、次のように最重要と重要に分けて表示しています。

最重要→◎ 重要→○

⑤「計画への反映のしかた」については、後期基本計画へ提言内容がどのように反映されたかを次のように分けて表示しています。

実施済：すでに実施している

実施可：後期基本計画期間で実施が可能

一部実施可：後期基本計画期間で一部実施が可能

要検討：当面、検討を要する

「実施済」、「実施可」、「一部実施可」に○印をつけた提言で後期基本計画分野別計画に記述または反映済ものは、○印の下に記述・反映と記述

未来会議提言内容

第1楽章 人と情報が行き交いにぎわいが生まれるまちづくり

[1] 産業づくり

(1) 農商工連携

No.	ねらい	誰が	何を	どうやる	取組み方	重要度	計画への反映のしかた (本計画に記述または反映しているものについては、記述・反映と記載)			
							実施済	実施可	一部実施可	要検討
1	新商品の開発や販路を開拓し、農商工の活性化を促進するため	商工会議所、市が	農商工が連携しやすい環境づくりを	工夫して、多くの異業者による新たな発想や展開方法をコーディネートする。	中期	◎	○記述			
2	農業者が売れるものを発案するため	商工業者が	消費者が求める農産物や加工品を	研究して、農業者に提案する。	長期	○	○記述			
3	市内経済の活性化を図るため	農家、農協、市が	美唄のハスカップの差別化を	研究して、インターネット等で販売する。	短期	◎				○
4	市内経済の活性化を図るため	商工会議所、農協、市が	特産品や新商品の開発の際の機械設備や資金面を	今後とも生産者等に支援していく。	長期	◎	○記述			
5	新商品の開発や販路を開拓し、農商工の活性化を促進するため	商工会議所、農協が	情報の共有化を	図り、連携機能を高め新商品の開発、販路拡大を促進する。	長期	○	○記述			
6	販路を拡大するため	農家、農協、商業者が	特産品や新商品の販路を	市外向けのほか、地産地消に向けた取り組みも行う。	中期	◎	○記述			
7	販路を拡大するため	農家、農協、商業者が	バイヤー等の要望に合わせた商品開発や販路先を	研究し、ビジネスとして成立するよう検討を行う。	長期	◎	○記述			

(2) 農業振興

No.	ねらい	誰が	何を	どうやる	取組み方	重要度	計画への反映のしかた (本計画に記述または反映しているものについては、記述・反映と記載)			
							実施済	実施可	一部実施可	要検討
8	農業の担い手を確保するため	農協、市が	移住者への居住の場（一定期間無償も可）や農業技術を学ぶ場を	設けて、市外からの新規就農者を増やす。	長期	○				○
9	農業の担い手を確保するため	農協が	婚活パーティーを	継続していく。	長期	○			○	

No.	ねらい	誰が	何を	どうやる	取組 み方	重 要 度	計画への反映のしかた (本計画に記述または反映して いるものについては、記述・反映 と記載)			
							実施 済	実施 可	一部 実施 可	要検 討
10	農業の担い手を確保、 移住者対策(人口増加) のため	農協、市 が	家庭菜園や農 業に興味を 持っている定 年退職者を	支援する。(土地利 用のコーディネートや技 術指導)	長期	○				○
11	農家所得の増加を図る ため	農家、農 協が	企業と連携し ながら、健康 志向のニーズ に対応した作 物や加工品を	作り、幅広いPRを行 う。	中期	◎	○			
12	農家所得の増加を図る ため	農家が	水稻に限ら ず、高収益な 農産物の	生産に挑戦する。	長期	○		○ 記述		
13	農家所得の増加を図る ため	農家が	(環境変化に 応じて)地域 で作付可能な 農産物を	生産可能かどうか研究 する。	長期	○		○ 記述		
14	農家所得の増加を図る ため	農家、 国、道、 市が	生産性の高い 農地の大規模 化を	早急に行い、コストの 低減や農業経営の安定 化を図る。	中期	◎	○ 記述			
15	競争力を高め、農家所 得の増加を図るため	農家が	後継者のいな い場合は、会 社化した経営 を	行い、生産性の高い農 地の大規模化を進め る。	長期	○				○
16	地域農業の振興を図る ため	市が	学校給食への 地場農産物の 供給を	今後とも進めていく。	長期	○	○			
17	地域農業の振興を図る ため	農家、農 協、市が	地場農産物を	朝市、直売などで販売を 推進していく。	中期	○	○ 記述			
18	地域農業を守るため	農協が	農家の声や地 域の実態を	踏まえ、農業振興計画 に活かしていく。	中期	◎		○		
19	地元の農業、農産物を 知り、食育の推進を図 るため	市が	学校給食の食 材として地場 農産物を	積極的に活用する。	短期	◎	○			
20	地域農業を守るため	市が	小規模土地改 良などの支援 を	推進する。	長期	○				○
21	地域農業を守るため	農協、市 が	家族、法人さ らには共同作 業、作業委託 などを取り入 れた多様な経 営を	守っていく。	長期	○			○	
22	新規就農者や定年帰農 者を含めた担い手への 農地の集積を図るため	農地保有 合理化法 人が	その保有地を	長期契約で貸し出す。	長期	○	○			

No.	ねらい	誰が	何を	どうやる	取組 み方	重要 度	計画への反映のしかた (本計画に記述または反映して いるものについては、記述・反映 と記載)			
							実施 済	実施 可	一部 実施 可	要検 討
23	地域農業を守るため	市が	有害鳥獣の防 護柵などを	設置し、農作物を守 る。	中期	◎				○

(3) 商工業振興

No.	ねらい	誰が	何を	どうやる	取組 み方	重要 度	計画への反映のしかた (本計画に記述または反映して いるものについては、記述・反映 と記載)			
							実施 済	実施 可	一部 実施 可	要検 討
24	中心市街地に賑わいを 創出するため	商工会議 所、市が	若い人が気楽 に集まれる場 を	設ける（例えば、スマ ホが充電できる、公共 無線LANが使える場 所）。	短期	○				○
25	商工業を振興し、雇用 の場を確保するため	市が	企業誘致を	引き続き力を入れて 行っていく。	長期	◎	○			
26	商業の発展と市内経済 の活性化を図るため	商工会議 所、市が	市民が地元の 商店を	愛用するような側面支 援を行う。（買い物に関 する市民のニーズ、満足 度調査、見識者の講演 会、先進地事例の情報提 供など）	長期	◎	○			
27	中心市街地に賑わいを 創出するため	商工会議 所、民 間、市が	イベント、祭 り等を	引き続き、中心市街地 で開催する。	中期	○	○			
28	中心市街地に賑わいを 創出するため	商工会議 所、民間 事業者、 市が	中心市街地に アウトレット モールを	外資系企業を活用して 開発する。	短期	○				○
29	商店街の賑わいを創出 するため	商工会議 所、市が	商店（街）の 整備費用を	一部、支援する。	長期	◎				○

[2] にぎわいづくり

(4) 観光・交流

No.	ねらい	誰が	何を	どうやる	取組 み方	重要 度	計画への反映のしかた (本計画に記述または反映して いるものについては、記述・反映 と記載)			
							実施 済	実施 可	一部 実施 可	要検 討
30	市内の経済効果を創出 するため	民間事業 者、市が	宿泊施設や観 光施設に発着 する循環バス を	運行して、まちの中心 街に人の流れをつくる とともに、観光施設間 のアクセスを向上させ る。	中期	◎			○	

No.	ねらい	誰が	何を	どうやる	取組 み方	重要 度	計画への反映のしかた (本計画に記述または反映して いるものについては、記述・反映 と記載)			
							実施 済	実施 可	一部 実施 可	要検 討
31	市内の経済効果を創出 するため	農家、民 間事業者 が	農産物や特産 品等を	宮島沼など、多くの観 光客が集まる場所で販 売する。	短期	○	○			
32	交流人口の増加を図る ため	観光物産 協会、民 間、市が	新たな観光資 源を(景色、 農業・刈取り 体験等)	開発し、一つのパッ ケージで札幌圏等に積 極的にPRしていく。	中期	◎	○			
33	観光リピーターを増や すため	観光物産 協会、市 が	観光ボラン ティアの育成 や観光音声ガ イド機器の整 備を	進めて、観光客のニー ズを満たす。	中期	◎		○		
34	交流人口の増加を図る ため	観光物産 協会、市 が	複数ある観光 サイトを	統一し、市の観光情報 の発信力を高める。	短期	◎		○		

(5) 公共交通

No.	ねらい	誰が	何を	どうやる	取組 み方	重要 度	計画への反映のしかた (本計画に記述または反映して いるものについては、記述・反映 と記載)			
							実施 済	実施 可	一部 実施 可	要検 討
35	市民バスを効率的に運 行するため	市が	公共交通の運 行経路などの 市民ニーズを	全市的に調査する。	短期	○			○	
36	より安全安心な暮らし を実現していくため	市が	市外の地域中 核病院等への 通院に市民バ ス等を	運行し、市内の病院で は対処困難な疾病にも 安心して対処できるよ うにする。	中期	◎			○	
37	公共交通機関の利便性 を高めるため	市が	JRの時間帯 に合わせた市 民バスを	運行し、市外への通 勤、通学者が遅くなっ ても安心して帰宅でき るようにする。	長期	○			○	

(6) 情報化推進

No.	ねらい	誰が	何を	どうやる	取組 み方	重要 度	計画への反映のしかた (本計画に記述または反映して いるものについては、記述・反映 と記載)			
							実施 済	実施 可	一部 実施 可	要検 討
38	市民の情報格差をなく すため	市が	ITの高度化・ 多様化を図る とともに広報 紙を	活用し、より充実した 情報を市民に提供す る。	長期	○	○			
39	市民の情報格差をなく すため	市が	インターネット 使用方法の 説明を	市民に分かりやすく行 う。	中期	◎			○	

No.	ねらい	誰が	何を	どうやる	取組 み方	重要 度	計画への反映のしかた (本計画に記述または反映して いるものについては、記述・反映 と記載)			
							実施 済	実施 可	一部 実施 可	要検 討
40	一人暮らしの高齢者等の安心を図るため	市が	ITの高度化・多様化を	さらに推進する。	中期	◎				○
41	市民の利便性を高めるため	民間事業者、市が	通信回線の速度を	調査し、高速化を図る。	短期	○	○			

第2楽章 人と文化を育み交流が広がるまちづくり

[3] 人づくり

(7) 子育て支援

No.	ねらい	誰が	何を	どうやる	取組 み方	重要 度	計画への反映のしかた (本計画に記述または反映して いるものについては、記述・反映 と記載)			
							実施 済	実施 可	一部 実施 可	要検 討
42	子育てニーズに対応するため	民間、市が	託児所を	3歳未満児の受入体制の充実を図るため、市役所など各職場に作る。	中期	○	○			
43	地域の子育て支援を実感してもらうため	市が	巡回子育てQ&Aサービスを	初めての子育てに不安を抱える母親に対し行う。	短期	◎	○			
44	安心して子育てできるまちへのため	市が	子育てに関して相談できる環境を	地域につくる。	中期	◎	○			
45	放課後児童施設のサービスを充実するため	市が	放課後児童施設のサービスを	各小学校内又は近隣の保育所などの施設を活用して行う。	長期	○	○			
46	子育て支援の充実のため	市が	子育てサポーター活動の活性化を	有償ボランティア制度の創設により図る。	短期	◎	○			
47	子育て支援センターを多くの市民の方々に利用していただくため	市が	子育て支援センターの活動PRを	広報紙やホームページなどを通して積極的に行う。	短期	○	○			
48	子育て支援センターへ行けないお母さん達へのサポートのため	市が	子育て支援センターを	フレックスタイムで開設して、普段来所できないお母さん達に利用してもらう。	長期	○				○
49	子育てに係る経済的支援のため	市が	多子家庭の経済支援を	医療費の無料化や保育料の減免制度の創設により行う。	短期	◎	○			

No.	ねらい	誰が	何を	どうやる	取組 み方	重 要 度	計画への反映のしかた (本計画に記述または反映して いるものについては、記述・反映 と記載)			
							実施 済	実施 可	一部 実施 可	要検 討
50	子育てに係る経済的支援のため	市が	子育て家庭高 校生までの医 療費の無料化 を	行い経済支援する。	短期	◎				○
51	子育て支援の充実のため	市が	一時預かり保 育を	公立幼稚園で行う。	中期	○	○ 反映			
52	子どもを産みやすい環境をつくるため	民間、市 が	産婦人科を	つくる。	長期	◎				○

(8) 学校教育

No.	ねらい	誰が	何を	どうやる	取組 み方	重 要 度	計画への反映のしかた (本計画に記述または反映して いるものについては、記述・反映 と記載)			
							実施 済	実施 可	一部 実施 可	要検 討
53	児童生徒の体力の向上のため	学校、外 部講師、 市が	体力を使った 遊びや、体操 教室、野外出 行など、子供 を対象にした スポーツ行事 を	市内各所で実施し、運 動する機会を増やす。	短期	◎		○ 反映		
54	児童生徒の体力の向上のため	学校、市 が	小・中学校の 開放事業を	推進する。	短期	○	○ 反映			
55	児童生徒の体力の向上のため	学校、市 が	保護者に対し て子どもの体 力向上の大切 さについて啓 発するための 講習会を	行う。	中期	◎		○ 反映		
56	児童生徒の体力の向上のため	学校が	部活動を	充実させる。	短期	○	○ 反映			
57	児童生徒の学力の向上のため	市出身の 大学生又 はOBが	学習が遅れて いる子供たち を	放課後学習などを通じ て支援する。	中期	○		○ 反映		
58	児童生徒の学力の向上のため	学校が	放課後や土日 に講座を	大学とタイアップして 開講する。	中期	○				○
59	児童生徒の学力の向上のため	学校が	発展学習を通 じて、受け身 の教育ではな く、考えを発 表する時間を	作る。	中期	○	○			
60	児童生徒の学力の向上のため	学校が	積極的に宿題 を	増やし家庭学習の機会 を掲示する。	短期	◎		○ 反映		

No.	ねらい	誰が	何を	どうやる	取組 み方	重 要 度	計画への反映のしかた (本計画に記述または反映して いるものについては、記述・反映 と記載)			
							実施 済	実施 可	一部 実施 可	要検 討
61	児童生徒の家庭学習の時間を確保するため	学校が	ゲーム・スマホの使用時間などのルールを	決める。	短期	○		○ 反映		
62	地域に根差した教育を推進するため	文化団体、福祉団体、体育団体が	地域資源（自然・歴史・文化・産業など）を活用した出前授業を	カリキュラムに位置づける。	長期	◎	○ 反映			
63	多様な学習を行い、児童生徒の学力の向上を図るため	学校が	ICTを活用した学習を	通じて学校教育を充実させる。	短期	○		○ 反映		
64	児童生徒に、より質の高い学習の機会を提供するため	学校、市が	教員の資質を	研修機会の充実により高める。	短期	○	○ 反映			
65	学校だけに頼らない、家庭学習の習慣を作るため	学校、市が	家庭学習の進め方、子供へのアプローチ、進路決定の際の児童生徒との対話の方法などについての講習会を	保護者に対して開催する。	中期	◎	○ 反映			
66	学力・体力不足の原因分析、改善のため	学校、市が	児童生徒の学力・体力不足を	細かく分析し、市民に対し明らかにするとともに、P.D.C.Aサイクルを短い期間に実施し改善する。	長期	◎	○ 反映			
67	携帯・スマホによる児童間のトラブル等を防ぐため	学校、市が	スマホの危険性や正しい使い方を	NTTドコモなどメーカーの人によるマナーの講座を開催し、児童・生徒・保護者に対して啓発、指導する。	短期	○	○ 反映			
68	特別支援が必要な児童生徒が平等に教育を受けられるようにするため	市が	特別支援が必要な児童・生徒を	幼・小・中・高と、継続的に支援をする。	長期	◎	○ 反映			
69	安全安心に学校生活を送れるようにするため	市が	学校施設を	整備し、災害に対応できるように維持管理する。	長期	◎	○ 反映			
70	地域で子ども育てる仕組みを作るため	PTA、学校、市が	ボランティア活動を	地域と連携して推進する。	中期	○	○ 反映			
71	クラス替えが可能となる規模にし、児童・生徒の社交性を養うため	市が	学校再編を	検討、実施する。	長期	○				○
72	不登校児童生徒を解消するため	学校、市が	不登校児童生徒の理由・原因分析を	行う。	短期	◎	○ 反映			

(9) 芸術・文化・生涯学習

No.	ねらい	誰が	何を	どうやる	取組 み方	重 要 度	計画への反映のしかた (本計画に記述または反映して いるものについては、記述・反映 と記載)			
							実施 済	実施 可	一部 実施 可	要検 討
73	幅広いPRにより、芸術鑑賞の参加者を増やすため	民間、市が	プレイガイドを	設置する。	中期	○			○	
74	炭鉱の歴史と文化をPRするため	NPO法人、市が	散策イベントを	三菱美唄鉄道廃線跡で行う。	短期	○	○			
75	炭鉱の歴史と文化をPRするため	NPO法人、市が	三菱美唄鉄道廃線跡を	活動拠点に活用する。	短期	○				○
76	炭鉱の歴史と文化をPRするため	NPO法人、市が	炭鉱の歴史を知っている高齢者を	散策ガイドして活用する。	中期	◎				○
77	市民講座の参加者増のため	市が	市民カレッジやサテライト・キャンパスに関する情報提供を	市内外に幅広く頻繁に行う。	長期	◎	○			
78	本に親しむ環境づくりのため	市が	図書館まつりなどのイベントを	開催する。	短期	○			○	
79	本に親しむ環境づくりのため	市教委が	読書の大切さを	学校の総合学習の時間で伝える。	長期	○				○
80	地域課題解決に向けて共に学ぶため	家庭、学校、市が	美唄の良さを	美唄の未来を担う子ども達に伝える。	長期	◎		○		
81	本に親しむ環境づくりのため	市教委が	移動図書館車の運行時間の延長や停留場所を	増やす。	短期	○	○			
82	読書により、市民の心を育てるため	市が	図書館の快適な環境を	継続する。	中期	○	○			
83	教養を高めるため	市が	図書館の本の冊数を	増やし、借りやすくする。	長期	○			○	
84	文化財の維持・保存のため	市が	木造文化財の写真やビデオ、模型などを	作成し、活用する。	長期	◎			○	
85	特色ある生涯学習事業を進めるため	市が	オンリーワンの事業の取り組みを	行う。	長期	◎	○			
86	持続可能な行財政運営のため	市が	近隣自治体との公共施設の共同利用を	進め、施設の統廃合を進める。	長期	◎			○	

No.	ねらい	誰が	何を	どうやる	取組 み方	重 要 度	計画への反映のしかた (本計画に記述または反映して いるものについては、記述・反映 と記載)			
							実施 済	実施 可	一部 実施 可	要検 討
87	持続可能な行財政運営のため	市が	公共施設の市外利用者の使用料を	高めに設定する。	長期	○				○
88	障がい者スポーツを含めたスポーツへの理解を高め、競技スポーツの振興のため	市が	東京五輪・パラリンピック合宿誘致を	さらに充実するよう努める。	長期	◎	○			
89	サークル活動の推進による健康の増進を図るため	民間が	ラジオ体操などのサークルを	設立する。	長期	○	○			
90	幅広いニーズへの対応のため	民間、市が	市民カレッジ、サテライト・キャンパスなど多くの方に参加してもらえるよう事業内容を	精査、工夫する。	短期	◎	○			
91	利便性の向上により、芸術・文化に触れる機会を増やすため	NPO法人、市が	アルテピアッツァ美唄までの無料バスを	運行する。	短期	○				○
92	展示内容の充実により、芸術・文化に触れる機会を増やすため	NPO法人、市が	アルテピアッツァ美唄の作品展示を	他市と合同で行う。	短期	○				○

(10) 男女共同参画

No.	ねらい	誰が	何を	どうやる	取組 み方	重 要 度	計画への反映のしかた (本計画に記述または反映して いるものについては、記述・反映 と記載)			
							実施 済	実施 可	一部 実施 可	要検 討
93	男女共同参画についての教育の機会を増やすため	学校、市が	男女共同参画について学ぶ機会を	長期間に渡って教育が行えるよう、早期に用意する。	長期	○	○			
94	男女共同参画の理解を深めるため	市が	男女共同参画について学ぶ機会を	増やす。	中期	◎	○			
95	男女共同参画の周知のため	市が	男女共同参画について、取組事例の紹介などのポスターを	市内の様々な場所に提示する。	短期	○	○			
96	家族、パートナーに対しての暴力を根絶するため	市が	DV問題について関係機関との情報交流を	行い、関係機関との連携を強化する。	中期	◎	○			

No.	ねらい	誰が	何を	どうやる	取組 み方	重 要 度	計画への反映のしかた (本計画に記述または反映して いるものについては、記述・反映 と記載)			
							実 施 済	実 施 可	一 部 実 施 可	要 検 討
97	配偶者等からのDVを根絶するため	市が	相談業務、相談窓口を	広く市民に周知する。	短期	○	○			
98	女性の登用率を高めるため	市が	民間における女性役職者を	把握する。	短期	○		○		
99	女性の登用率を高めるため	企業、民間団体が	女性登用率の目標を	設定する。	短期	○	○			
100	政策方針決定の場への女性の参画率を高めるため	市が	審議会別に女性登用の目標数を	設定する。	短期	○			○	
101	女性が子どもを安心して、生み育てるため	市が	託児サービスなどの制度を	拡充して、環境の整備を行う。	中期	◎	○			

(11) 平和施策

No.	ねらい	誰が	何を	どうやる	取組 み方	重 要 度	計画への反映のしかた (本計画に記述または反映して いるものについては、記述・反映 と記載)			
							実 施 済	実 施 可	一 部 実 施 可	要 検 討
102	平和を愛する心を育むため	市民、市が	美唄と戦争の関わりを	子ども達に伝える。	中期	○	○			
103	若い世代に当時のことを伝えるため	市民、市が	戦後の体験談を	若い世代、子ども達に聞かせる。	中期	◎	○			
104	戦争体験を小・中学生に継承するため	市が	戦後70年、被ばく体験の講座、講演を	招へいする。	短期	○			○	

第3楽章 豊かな景観あふれるエコロジーなまちづくり

[4] 環境づくり

(12) 自然保護

No.	ねらい	誰が	何を	どうやる	取組 み方	重 要 度	計画への反映のしかた (本計画に記述または反映して いるものについては、記述・反映 と記載)			
							実施 済	実施 可	一部 実施 可	要検 討
105	積極的な情報の発信による湿地の保全と賢明な利用促進の啓発のため	市民、市が	宮島沼のPR映像を	協働で制作して、市内観光施設やインターネット等で公開する。	短期	◎	○			
106	自然、文化、交流活動を通じた湿地の保全と賢明な利用促進の啓発のため	農家、市が	宮島沼とグリーン・ツーリズムを連携させる方法や取組を	研究して実践する。	中期	○	○			
107	貴重な自然環境を将来にわたって持続的に保全していくため	市が	人と野生生物が共生することの大切さを	広報紙などを通じて市民に啓発する。	長期	◎	○			
108	自然環境を活用した交流人口の増加や湿地の保全と賢明な利用促進の啓発のため	関係団体、市が	宮島沼を案内するボランティア案内員を	市民講座や研修等を通じて養成する。	中期	○	○			
109	自然環境を活用した交流人口の増加や湿地の保全と賢明な利用促進の啓発のため	商工会議所、市が	宮島沼と道道美唄富良野線をつなぐ観光ルートを	研究し、確立させる。	短期	◎		○		
110	自然環境を活用した交流人口の増加や湿地の保全と賢明な利用促進の啓発のため	商工会議所、市が	自然保護と企業イメージを	結び付け、資源保護に向けた取組を行う。	長期	○	○			
111	貴重な自然環境を将来にわたって持続的に保全していくため	市が	宮島沼の保全策を	大学や研究者、研究機関等と共同で研究する。	中期	◎	○			

(13) 環境行動

No.	ねらい	誰が	何を	どうやる	取組 み方	重 要 度	計画への反映のしかた (本計画に記述または反映して いるものについては、記述・反映 と記載)			
							実施 済	実施 可	一部 実施 可	要検 討
112	環境に配慮した行動ができる人づくりを進めるため	市が	循環型社会を形成していくことの大切さを	学校における環境教育の場で子供たちに啓発する。	短期	◎	○			
113	環境に配慮した行動ができる人づくりを進めるため	市が	循環型社会を形成していくことの大切さを	出前講座などを活用して町内会や老人クラブで啓発する。	短期	◎	○			

No.	ねらい	誰が	何を	どうやる	取組 み方	重要 度	計画への反映のしかた (本計画に記述または反映して いるものについては、記述・反映 と記載)			
							実施 済	実施 可	一部 実施 可	要検 討
114	地球にやさしい生活に 取り組むため	市民、市 が	二酸化炭素の 排出抑制や節 電の具体策を	検討し、実施と定着化 を図る。	中期	◎		○		

(14) ごみ処理

No.	ねらい	誰が	何を	どうやる	取組 み方	重要 度	計画への反映のしかた (本計画に記述または反映して いるものについては、記述・反映 と記載)			
							実施 済	実施 可	一部 実施 可	要検 討
115	ごみの適正な処理、減 量化、リサイクルのた め	市が	ごみを分別す ることの大切 さを	学校における環境教育 の場で子供たちに啓発 する。	短期	◎	○			
116	ごみの適正な処理、減 量化、リサイクルのた め	市が	ごみを分別す ることの大切 さを	出前講座などを活用し て町内会や老人クラブ で啓発する。	短期	◎	○			
117	ごみの排出量の減量化 のため	市が	ごみの分別や リサイクルが 重要であるこ とを	広報紙やホームページ の活用、啓発用のDV Dの制作配布などによ り啓発する。	短期	◎	○			

[5] うるおいづくり

(15) 都市基盤整備

No.	ねらい	誰が	何を	どうやる	取組 み方	重要 度	計画への反映のしかた (本計画に記述または反映して いるものについては、記述・反映 と記載)			
							実施 済	実施 可	一部 実施 可	要検 討
118	災害時のリスクを分散 し、安全・安心の暮ら しを実現のため	市が（道 や近隣市 町村と連 携して）	市民生活に密 着したインフ ラ整備として 避難所等を	増やしていく。	長期	◎	○			
119	災害時のリスクを分散 し、安全・安心の暮ら しを実現のため	市が（道 や近隣市 町村と連 携して）	市民生活に密 着したインフ ラ整備を	未来へ向けて考察し、 優先順位をつけて取り 組む。	長期	◎	○			
120	行政機能の保全のため	道、市が	公共施設の耐 震化を	有識者によるチェック も受けながら優先順位 をつけて実施する。	長期	◎	○			
121	行政機能の保全のため	道、市が	公共施設の耐 震化を	施設の長寿命化又は除 却かを検討し、決定す る。	長期	◎				○

(16) 景観・緑づくり

No.	ねらい	誰が	何を	どうやる	取組 み方	重 要 度	計画への反映のしかた (本計画に記述または反映して いるものについては、記述・反映 と記載)			
							実 施 済	実 施 可	一 部 実 施 可	要 検 討
122	森林の保全と活用のため	市民、市 が	防風林、森林 の整備や植樹 を	地域の意欲を高めるよ う、子ども達のキャン プやボーイスカウトで 森林活用する。	中期	◎	○ 反映			
123	森林の保全と活用のため	市民、市 が	防風林、森林 の整備や植樹 の啓発を	山菜を使ったイベント や、サテライトキャン パスの講座を通じて行 う。	中期	○				○
124	各公園を交流の場と し、それを景観づくり につなげるため	市民、市 が	公園ごとに同 種のたくさん の花を	植えて特長づけをし、 市全体を花のテーマ パークのようにする。	短期	◎				○
125	各公園を交流の場と し、それを景観づくり につなげるため	市民、市 が	公園や市民の 庭の花の情報 を	写真やSNS等で公開 する。	短期	○				○
126	交流人口の増加、市民 の意識向上のため	市民、市 が	森林整備の体 験を	林業を学んでいる高校 生、大学生や地域の住 民にしてみよう。	長期	◎				○
127	交流人口の増加、市民 の意識向上のため	市民、市 が	市民やボラン ティア団体が 整備した森林 や公園を	桜まつりのようなイベ ントや野鳥観察会など のイベントで活用す る。	中期	○	○ 反映			
128	交流人口の増加、市民 の意識向上のため	市民、市 が	市有林の一部 を	使用料を取って個人に 貸し出し、各々が記念 植樹を行う。	長期	○				○

第4楽章 誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり

[6] 健康づくり

(17) 保健

No.	ねらい	誰が	何を	どうやる	取組 み方	重 要 度	計画への反映のしかた (本計画に記述または反映して いるものについては、記述・反映 と記載)			
							実 施 済	実 施 可	一 部 実 施 可	要 検 討
129	それぞれのライフス テージに合った健康な 生活を実現するため	市民が	健康への関心 を	高める。(健康に対す る価値観は人それぞ れ)	長期	◎	○ 記述・ 反映			
130	家庭の中で子どもへの 食事の重要性を理解す るため	市民が	家庭で食卓を 囲む機会を	増やし、子ども達の孤 食・個食を減らす。	短期	○		○ 反映		

No.	ねらい	誰が	何を	どうやる	取組 み方	重 要 度	計画への反映のしかた (本計画に記述または反映して いるものについては、記述・反映 と記載)			
							実施 済	実施 可	一部 実施 可	要検 討
131	子どもの食に対する関 心を高めるため	保護者が	食育を	学び、食の安全・安 心・素材について意識 し、子どもに伝える。	中期	◎	○ 記述・ 反映			
132	子どもの虫歯を予防す るため	保護者、 学校が	歯磨きの大切 さを	学校内、家庭内で継続 して指導する。	中期	○	○ 記述・ 反映			
133	生涯を通じて健康な生 活を実現するため	民間、市 が	ライフステー ジに応じた健 康づくりを	取り組む。	長期	◎	○ 記述・ 反映			
134	病気にならない生活習 慣づくりのため	市が	食生活の指導 を	幼児期から取り組む。	中期	○	○ 記述・ 反映			
135	がん検診の受診率の向 上のため	市が	がん検診の重 要性を	市民に広く啓発し、周 知する。	短期	◎	○ 記述・ 反映			
136	保健指導の担い手不足 を解消するため	市が	健康について の指導者を	育成する。	中期	◎	○ 記述・ 反映			
137	身近にある食材を通じ て、美唄ならではの健 康な生活を実現するた め	市が	栄養素や季節 ごとの美唄近 辺で手に入る 「旬」の食材 マップ・表を	製作する。	短期	○				○

(18) 地域医療

No.	ねらい	誰が	何を	どうやる	取組 み方	重 要 度	計画への反映のしかた (本計画に記述または反映して いるものについては、記述・反映 と記載)			
							実施 済	実施 可	一部 実施 可	要検 討
138	「美唄」独自の地域医 療体制の構築のため	民間、市 が	独自性のある 人間ドックな ど健康診断を	充実させる。	長期	○				○
139	「美唄」独自の地域医 療体制の構築のため	民間、市 が	近隣市町にな い医療に特化 した医師、病 院を	充実させる。	長期	○				○
140	医師の確保のため	民間、市 が	大学病院や人 脈を	通じて、医師の確保を 図る。	中期	◎	○ 記述			
141	安心して子どもを産み 育てるため	民間、市 が	小児科医を	確保して、子育て環境 の充実を図る。	長期	◎	○ 記述			
142	安心して子どもを産み 育てるため	市が	ベテラン保健 師を	配置して、育児相談の 環境を充実させる。	長期	○				○

No.	ねらい	誰が	何を	どうやる	取組み方	重要度	計画への反映のしかた (本計画に記述または反映しているものについては、記述・反映と記載)			
							実施済	実施可	一部実施可	要検討
143	20年先を見越した介護予防対策のため	市が	多職種ネットワークを	構築し、介護予防対策について、検討、情報共有を図る。	短期	○	△ ネット部分のみ記述			
144	安心できる老後の医療のため	市が	予防医療を	実施する。	短期	○	○ 記述・反映			
145	安心できる老後の医療のため	医師会、市が	在宅医療の機会、必要性を	訴えるとともに増やしていく。	短期	○	○ 記述			

[7] 福祉のまちづくり

(19) 障がい者福祉

No.	ねらい	誰が	何を	どうやる	取組み方	重要度	計画への反映のしかた (本計画に記述または反映しているものについては、記述・反映と記載)			
							実施済	実施可	一部実施可	要検討
146	障がい者への理解を深め地域社会への積極的な参加につなげるため	地域住民、障がい者が	協力して、イベント等を	企画、実行する。	長期	○	○			
147	障がい者への理解を深め地域社会への積極的な参加につなげるため	地域住民（ボランティア）が	障がい者宅への訪問を	行い、交流を深める。	短期	○	○			
148	障がい者にとって住み良い地域づくりのため	民間、市が	施設のバリアフリー化を	行う。	中期	○	○			
149	障がい者にとって住み良い地域づくりのため	障がい者が	成年後見制度を	有効に活用する。	短期	◎	○			
150	障がい者にとって住み良い地域づくりのため	市が	バリアフリーの公共施設を	マップにする。	短期	○		○		
151	障がい者への理解を深め地域社会への積極的な参加につなげるため	地域住民が	障がい者に対する理解を	深めるための勉強を行う。	長期	◎	○ 記述			

(20) 高齢者福祉

No.	ねらい	誰が	何を	どうやる	取組 み方	重 要 度	計画への反映のしかた (本計画に記述または反映して いるものについては、記述・反映 と記載)			
							実施 済	実施 可	一部 実施 可	要検 討
152	高齢者の社会参加を促すため	市が	高齢者が地域で活躍する場を	確保する。	短期	◎	○			
153	高齢者の社会参加を促すため	市が	高齢者が利用できる拠点施設を	整備し、若者との交流(知識・経験を伝える)の場として活用する。	短期	○				○
154	認知症患者・高齢者を支える仕組みを作るため	市が	認知症の予防対策を	福祉と医療で連携して検討、実施する。	長期	◎	○			
155	認知症患者・高齢者を支える仕組みを作るため	市が	認知症に対する対策・研究を	大学・専門機関・研究機関と連携して推進する。	中期	◎	○			
156	認知症患者・高齢者を支える仕組みを作るため	市が	認知症に特化した病院を	建設する。	中期	○				○

第5楽章 安全で安心して住めるまちづくり

[8] 安全づくり

(21) 防災・防犯・交通安全

No.	ねらい	誰が	何を	どうやる	取組 み方	重 要 度	計画への反映のしかた (本計画に記述または反映して いるものについては、記述・反映 と記載)			
							実施 済	実施 可	一部 実施 可	要検 討
157	安全な市民の暮らしを確保するため	市が	災害に備えることの大切さを	広報紙などを通じて市民に啓発する。	短期	◎	○ 反映			
158	安全な市民の暮らしを確保するため	市が	自主防災組織の結成を	進めるために町内会に依頼する。	短期	◎	○ 記述			
159	安全な市民の暮らしを確保するため	市が	災害対策の拠点となる市庁舎を	耐震化する。	長期	○				○
160	安全な市民の暮らしを確保するため	市が	防犯について町内会の自主的な取組が	進むようにする。	長期	○	○			
161	安全な市民の暮らしを確保するため	市民、市が	交通事故の未然防止を	進めるために警察に依頼する。	長期	○	○			

(22) 消防

No.	ねらい	誰が	何を	どうやる	取組 み方	重要 度	計画への反映のしかた (本計画に記述または反映して いるものについては、記述・反映 と記載)			
							実施 済	実施 可	一部 実施 可	要検 討
162	安全な市民の暮らしを 確保するため	市が	火災予防・初 期消火活動の 重要性を	広報紙などを通じて市 民に啓発する。	長期	○	○ 記述			
163	安全な市民の暮らしを 確保するため	市が	AEDの知識 など救急応急 手当の技術の 普及を	広報紙などを通じて市 民に周知する。	短期	◎	○ 反映			
164	安全な市民の暮らしを 確保するため	市が	不要不急な救 急要請の抑制 を	広報紙などを通じて市 民に周知する。	中期	◎	○ 反映			

[9] 安全づくり

(23) 消費者保護

No.	ねらい	誰が	何を	どうやる	取組 み方	重要 度	計画への反映のしかた (本計画に記述または反映して いるものについては、記述・反映 と記載)			
							実施 済	実施 可	一部 実施 可	要検 討
165	詐欺被害防止のため	市、市 民、消費 生活セン ター、警 察、企業 が	ネットワー クづくりを	町内会等のコミュニ ティを活用し、啓発D VD等で特殊詐欺につ いての啓発を行うとと もに、周りに相談しや すい雰囲気醸成す る。	短期	○		○		
166	詐欺被害防止のため	市、市 民、消費 生活セン ター、警 察、企業 が	ネットワー クづくりを	金融機関で年金の支給 日を中心に注意喚起を 行う。	短期	○	○			
167	詐欺被害防止のため	市、市 民、消費 生活セン ター、警 察、企業 が	ネットワー クづくりを	運送業・宅配業者に協 力を要請し、詐欺につ ながる疑いのある荷物 を見つけた時には、声 かけをしてもらう。	短期	○				○
168	特殊詐欺から市民の安 心・安全を守るため	市民、警 察、防犯 協会、消 費生活セ ンター、 金融機関 が	市民への意識 づけを	関係者の横断的連携を 強める。	短期	○	○			

No.	ねらい	誰が	何を	どうやる	取組 み方	重要 度	計画への反映のしかた (本計画に記述または反映して いるものについては、記述・反映 と記載)			
							実施 済	実施 可	一部 実施 可	要検 討
169	特殊詐欺から市民の安心・安全を守るため	市民、警察、防犯協会、消費生活センター、金融機関が	市民への意識づけを	地域での集まりを活用して特殊詐欺に関する情報共有や啓蒙活動を実施する。	短期	○		○		

(24)雇用対策

No.	ねらい	誰が	何を	どうやる	取組 み方	重要 度	計画への反映のしかた (本計画に記述または反映して いるものについては、記述・反映 と記載)			
							実施 済	実施 可	一部 実施 可	要検 討
170	若い世代向けの雇用創出、人口減少対策のため	市、企業、学校が	企業誘致を	移転のハードルが高い大企業ではなく、个性的な中小企業を数多く誘致する。	長期	◎	○			
171	若い世代向けの雇用創出、人口減少対策のため	市、企業、学校が	企業誘致を	学校で企業の見学会を開き、若い人に地元で就職してもらう環境を整える。	中期	◎	○			
172	市の活性化、人口減少対策のため	市が	他の市町村の高齢者の美唄への移住促進を	市立病院と連携し医療施設を充実させるとともに、雪冷房を活用した快適な環境のサービス付き高齢者住宅を整備する。	長期	◎				○
173	市の活性化、人口減少対策のため	市が	他の市町村の高齢者の美唄への移住促進を	農業体験など、高齢者の生きがいを整備する。	長期	◎				○

(25)コミュニティ

No.	ねらい	誰が	何を	どうやる	取組 み方	重要 度	計画への反映のしかた (本計画に記述または反映して いるものについては、記述・反映 と記載)			
							実施 済	実施 可	一部 実施 可	要検 討
174	福祉会館の利用者を増やすため	市、町内会、事業所、地域応援チームが	地元の町内会での福祉会館の利用実態を	把握し、新たな利用形態を考え、住民に周知する。	中期	○	○			
175	地域における相互扶助機能を高める	市、市民が	行政と市民との懇談会のあり方の見直しを	行い、これまでの地域応援チームだけでなく、福祉や防犯、災害対策など幅広い問題を話し合えるような場を設ける。	中期	◎	○			

No.	ねらい	誰が	何を	どうやる	取組み方	重要度	計画への反映のしかた (本計画に記述または反映しているものについては、記述・反映と記載)			
							実施済	実施可	一部実施可	要検討
176	地域における相互扶助機能を高める	市、市民が	福祉会館の幅広い活用を	福祉会館を地域の幅広いイベントで活用し、住民のコミュニケーションを活発にする。	中期	◎	○			

最終楽章 みんなで力を合わせるまちづくり

[10] 地域経営の確立

(26) 協働のまちづくり

No.	ねらい	誰が	何を	どうやる	取組み方	重要度	計画への反映のしかた (本計画に記述または反映しているものについては、記述・反映と記載)			
							実施済	実施可	一部実施可	要検討
176	まちづくりへの市民参加を促進するため	市が	市民との情報の共有を	広報紙などの活用を通して、積極的に推進する。	短期	◎	○			
177	まちづくりを支える人材を確保するため	市が	ボランティアづくりの啓蒙を	イベント等の開催時に積極的に推進する。	中期	◎	○			
178	町内会活動を活性化し、まちづくりを推進するため	町内会、市が	相互の協力関係を	高めていく。	短期	○	○			
179	団体の活動を活性化し、まちづくりを推進するため	各団体が	類似の活動をしている組織を	統合する。	長期	○				○
180	地域のさまざまな課題の解決を図るため	市が	現場の視点に立ったまちづくりを	市民や議会と連携し、施策の方向性に従って具体的に進める。	長期	◎	○			
181	市民目線からの議論を活性化するため	市が	市民参加による会議の在り方を	工夫する。	長期	○	○			

(27) 行財政運営

No.	ねらい	誰が	何を	どうやる	取組み方	重要度	計画への反映のしかた (本計画に記述または反映しているものについては、記述・反映と記載)			
							実施済	実施可	一部実施可	要検討
182	財政の健全化を可視化し、市民によりわかりやすい行財政改革を進めるため	市が	決算に対する市民の意見を	反映できる仕組みをつくる。	中期	○	○			

No.	ねらい	誰が	何を	どうやる	取組 み方	重 要 度	計画への反映のしかた (本計画に記述または反映して いるものについては、記述・反映 と記載)			
							実施 済	実施 可	一部 実施 可	要検 討
183	人口減少社会に適格に 対応した、効率的な組 織体制を構築するため	市議会、 市が	議員数、職員 数の最適な定 数を	検討していく。	長期	◎				○
184	市民が利用しやすい病 院をつくるため	市が	医師の確保を	図っていく。	中期	◎	○			
185	組織の構造改革を図 り、自治体経営の確立 と存続を目指すため	市が	外部委託が可 能な業務を	外注し、企画立案業務 を重視した組織体制の 構築や、市民との関わ りを深める能動的な組 織体制を整備する。	長期	○		○		
186	事務事業の適正かつ柔 軟な執行を図るため	市が	民間で導入し ている「目標 管理制度」を	導入し、担当者の責任 の所在を明確にする。	長期	○	○			
187	雇用を増やし、人口増 加を図るため	市が	地方創生の具 体的アイデアを	提案し、執行する。	中期	◎	○			

まちづくり小学生、中学生、高校生アンケート集計表

- 調査対象
- ・美唄青年会議所に協力をいただき、ジュニアアクトクラブの参加者の小学生、中学生に対し、美唄について学びの時間を設け、その後アンケート調査を実施
 - ・市役所でのインターシップ後の美唄尚栄高校の生徒に対し、アンケートを実施

①あなたは男子ですか？女子ですか？ あなたは小学生ですか？中学生ですか？

男子	9	小学生	13
女子	12	中学生	4
未回答	2	高校生	5
		未回答	1
計	23	計	23

②あなたは今の美唄市のことをどう思っていますか？「そう思う」「普通だと思う」「そう思わない」の中から1つだけ選んで、○をつけてください。

	そう思う	普通だと思う	そう思わない
1. 自然がいっぱいある。	16	7	0
2. 地域の人が助け合って仲良く暮らしている。	9	12	2
3. まちは、ごみがなくてきれいだ。	3	14	6
4. まちの道路や歩道は、整備されていて安全だ。	5	8	10
5. 事件や事故がなくて安心だ。	8	14	1
6. まちの人は、子どもやお年寄りに親切だ。	11	11	1
7. 通っている学校は、勉強しやすい施設や設備がととのっている。	11	7	5
8. まちの公園や広場は、遊びやすくて使いやすい。	6	10	7
9. 病院が整備され安心して暮らせる。	8	9	6
10. ほしい物は、まちの店で買える。	1	9	13

③将来、美唄市に住みたいと思いますか？ 1つだけ選んで、番号に○をつけてください。

1. 美唄市に住みたい	2. ほかのまちに住みたい
7	16
	他市の内訳（複数回答有り）
	札幌市 9 岩見沢市 1 伊達市 1 三笠市 2
	東京都 4（うち墨田区 1）
	京都府 1 大阪府 1 サッカーの強いまち 1

④ ③で「2.ほかのまちに住みたい」を選んだ方におたずねします。市外に住みたいと思う主な理由は何ですか？

次の中から当てはまる番号すべてに○をつけてください。

答えがない場合は、「10.そのほか（ ）」に書いてください。

1. 将来、自分のやりたい職業がないから	9
2. 交通が不便だから	1
3. 買い物が不便だから	7
4. 子どもを育てる環境が不安だから	2
5. 医療や福祉の面が不安だから	3
6. 遊び場が少ないから	5
7. 冬の寒さや雪などの自然がきびしいから	2
8. 災害や交通事故、犯罪などが不安だから	1
9. 生活環境が悪いから	0
10. そのほか	3

- ・前、住んでいたから
- ・将来、自分のやりたい職業が美唄より札幌の方がいいと思ったから。まちがきれいだから。
- ・札幌市でサッカーがしたい
- ・大きなまちに住みたいから

⑤美唄市の「良いところ、自慢できること」と「悪いところ、いやだなと思うこと」は、どんなことでしょうか。自由に書いてください。

良いところ、自慢できること

- ・自然に恵まれていて、様々な企業、人たちの活動が活発で他のまちに自慢をすることができる。
- ・自分が将来、仕事をするなら美唄がいいと思う理由である。
- ・アルテピアッツァ
- ・炭鉱は素晴らしいと思います。
- ・美唄の文化、歴史を学んで好きになりました。
- ・自然が多い、夜は安全
- ・自然が多い
- ・空気がきれいな気がする
- ・それなりに有名な物・人がある
- ・コンビニが多い？
- ・焼き鳥などの食べ物がおいしい
- ・12号線があるため、車での移動がしやすい
- ・自然が多い
- ・特になし
- ・道路を渡る時に待ってくれるから
- ・アルテピアッツァがある
- ・アルテピアッツァなど自然が豊かな所がたくさんあって、安田侃さんや後藤竜二さんなどの有名人がいること
- ・自然がゆたかで、人がやさしい。
- ・みんな、やさしい
- ・事故や事件が少ない所。
- ・みんなが親切な所。
- ・東明公園が桜が咲いてキレイ
- ・焼き鳥が美味しい。
- ・アルテピアッツァがきれい
- ・自然がいっぱいある。
- ・12号線、高速道路が走っている。
- ・食べ物がたくさんある。
- ・町の人がやさしい
- ・景色がきれいな所があること

- ・ハスカップ狩りができる
- ・外遊びがいっぱいできる
- ・観光イベントなどにも積極的に出ているところ（PRしている所）
- ・やきとりとかとりめしがうまい
- ・とりめしが有名だから
- ・わからない

悪いところ、いやだなと思うこと

- ・自然が多いから、環境について、もう少し考えなくていけないと思う。
- ・じっくり美唄をみたらごみが落ちていたり問題は多い。不法投棄もある。
- ・買い物が不便だと思いました。
- ・もっと色々なお店がほしい。
- ・買いたい物があっても、店がない。
- ・個人的には、レンタルビデオ屋が欲しい
- ・若い人が少ない
- ・もっと公園がほしい
- ・道路が狭い所が多い
- ・大きなショッピングセンターなどが無いから買い物が不便
- ・冬の排雪が悪いときがある
- ・大きな企業が無いので若者が増えない
- ・スキー場にバスで行けない
- ・特になし
- ・車のスピードが速いから
- ・ないです
- ・買い物が不便なことと、やりたい職業がないから
- ・どこでもそうだけど、犯罪が嫌だなと思った。
- ・口が悪い
- ・大きな物があまり売っていない。
- ・ないです
- ・ゲームを売るお店とかがない。
- ・レンタルDVD屋さんがない。
- ・映画館がない！！
- ・服を買う店がない。
- ・すべての買い物ができない。
- ・プリクラがない。
- ・大きい物が売っていない
- ・道路がでこぼこされていて、自転車で走りにくい
- ・おもちゃやゲームが売っていない。
- ・歩道が狭すぎたり、整備されてないところ
- ・店がない
- ・なし
- ・わからない

⑥これからの美唄市は、どのようなまちになると良いと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。答えがない場合は「11. そのほか」の（ ）に書いてください。

1. 緑や川などの自然がゆたかなまち	17
2. ごみが落ちていなくて、花や緑が植えられた美しいまち	15
3. みんなが助け合い、仲良く暮らすまち	8
4. 公園や遊び場などがたくさんある（近くにある）まち	12
5. 交通事故や事件、災害などが少ないまち	17
6. 学校や図書館などが整備されたまち	8
7. お店がたくさんあり、交通などが便利なまち	12
8. 農業、林業、商業、工業など、産業がさかんなまち	9
9. たくさんの人が観光に来るまち	13
10. 大きな建物がたくさんあって、人も多い、にぎやかなまち	10
11. そのほか	0

⑦美唄市がもっと住みやすいまちになるためには、どのようなことをしたら良いと思いますか？また、どのようなところをなおしたら良いと思いますか？ 自由に書いてください。

- ・一番最初に大事だと思うのが、美唄市民のことを考えることだと思う。
- ・もちろん大きな店、便利な施設があるのはいいことだけど交通整備、ごみなどの環境問題、そういうところに力をいれるのが大事だと思う。
- ・それが美唄にとって大事なことであり、観光などで来てくれる他のまちの人に対する一番の接客だと思う。だから自分は環境問題に力を入れることが大事だと思います。
- ・年々お祭りの店数が減っていくのがちょっと嫌だなと思います。
- ・公園の茂った草を伐採してほしいです。
- ・焼き鳥のやハスカップなどに勝る、美唄産物を作ればいいと思います。
- ・まだ、でこぼこの道があるので、いち早く平らにしてほしいと思います。
- ・最後に商工観光課にインターシップとして、働けてよかったです。
- ・店をもっと増やす。
- ・道の街灯が少ないので、歩いているとつまずいてしまうから、街灯を増やしてほしい。
- ・まだ、じゃり道のところがあるので、直して欲しい。
- ・光回線がおとっていないところがあるので、とおしたほうが良いと思います。
- ・廃墟があるので、壊した方が良いと思います。
- ・使っていない建物があれば再利用した方が良いと思います。
- ・冬に除雪が来るのですが、取り残しもあるので、しっかりと雪をとった方が良くと思います。
- ・高校卒業後、働く場所が少ないので、もっと増やした方が良くと思います。
- ・道路が狭い、特に歩道
- ・水はけが良くない、雨降った後の歩道など
- ・広い公園などが欲しい
- ・娯楽が不足気味な気がする
- ・もっと美唄の良い場所（アルテや宮島など）をPRして欲しい
- ・市役所がなんか暗いというか閉ざされてる？感じがする
- ・除雪が大変
- ・休日に遊びに行こうと思うところが少ない
- ・美唄市がどんな仕事しているか分かりづらい
- ・他の学校と交流できる機会があれば良い
- ・市立病院を中心として、もっと福祉に力を入れれば、老人が暮らしやすくなり、介護に携わる若者が増えると思う。
- ・ICチップなどをつくる企業に来てもらえば企業も美唄市にもいい効果があると思う。
- ・高齢者が多いので、もう少しバスを出せばいいと思う。
- ・公園の遊具を取り壊すだけでなく、直して使う方が子どもにとっていいと思う。
- ・特になし
- ・みんなが助け合い、交通などが便利なまち
- ・⑥の1～10で書いたとおりにすれば良いと思います！
- ・今の自然を大切にする。
- ・美唄市をきれいにする。よびかける。
- ・大きい建物を建てたらいいと思う
- ・お店を増やす。（スーパー、服屋など）
- ・楽しく遊べる所を増やす。（公園、運動場など）
- ・地域の交流を増やす。
- ・大きな建物を建てた方がいい。
- ・事故や事件の少ないようにする。
- ・だれもが安全に住めるように、少し歩道を広げたり、登下校の時、「すきやき隊」のように、パトロール隊をつけるともっと良くなると思う。
- ・ゴミからなんやら落ちている物を拾って今より倍キレイな町にする。
- ・使っていない建物など、取り壊す。
- ・お店を多くしたらいい
- ・自然をふやす。

パブリック・コメント手続結果

- 意見募集期間 平成27年9月28日(月)～10月27日(火)
- 意見募集案件 びばい未来交響プラン（第6期美唄市総合計画）後期基本計画（案）
- 意見提出件数 0件

びばい未来交響プラン
(第6期美唄市総合計画)
後期基本計画

平成28年3月発行
編集・発行／美唄市総務部企画課

〒072-8660
美唄市西3条南1丁目1番1号
電話 0126-62-3137 ファックス 0126-62-1088